

平成 23 年度 北大基礎融合科学領域リーダー育成システム  
＜テニユアトラック普及・定着事業（部局・女性型）＞  
2 ポスト公募

北海道大学は、平成 23 年度文部科学省科学技術人財育成費補助事業（テニユアトラック普及・定着事業プログラム）において「北大基礎融合科学領域リーダー育成システム事業」を推進し、テニユアトラック制度の充実化を図っております。

本システムでは、北大テニユアトラック助教として、次世代の基礎融合科学領域のグローバルリーダーとなる資質を有した優秀な若手女性研究者を広く公募します。

本システム採用選考では、研究能力だけでなくリーダーとしての総合力（企画力、組織力、推進力、解析力、国際性等）も併せて行います。また、テニユアトラック・ポスト着任後は、以下の自立的な研究環境が提供されると共に、リーダー育成プログラムへの積極的な参画が義務付けられます。

1. 募集人員

2 名（ホスト部局※：工学研究院 1 名、理学研究院 1 名）

※採用当初は人材育成本部所属、活動拠点はホスト部局。テニユア・ポスト移行後は所属・活動拠点共にホスト部局

募集分野の詳細は、下記WebサイトのContact:研究領域を参照してください。

[http://www.cris.hokudai.ac.jp/l-station/en/e\\_research\\_field.html](http://www.cris.hokudai.ac.jp/l-station/en/e_research_field.html)

2. 雇用条件

1) テニユアトラック助教として、平成 28 年（2016 年）3 月 31 日まで任期付雇用します。

2) 平成 25 年度（2013 年度）に中間評価を行い、テニユアトラック・ポストとしての継続可否を決定します。また、中間評価合格後、任期終了時まで、ホスト部局（大学院工学研究院または大学院理学研究院）における第一次テニユア審査および人材育成本部リーダー育成委員会における第二次テニユア総合審査評価を行い、テニユア職（准教授）への採用可否を決定します。

3) 給与は本学規定に基づき経験等を考慮の上、決定する。

3. 応募資格

・博士の学位を有する者（PhDなど外国での同等の学位を含む）

・博士号取得後 10 年以内の研究者または同等程度の研究経歴を有する研究者であること。

・女性であること（男女雇用機会均等法第 8 条に該当。女性教員の割合が相当程度少ない現状を積極的に改善するための措置として女性に限定した採用を行うもの。）（付記参照）

・英語に堪能で、英語による講義・研究指導ができること

（研究業績が同等レベルであれば、外国在住研究者（外国籍を含む）を優先的に採用することがある。）

4. 研究環境

研究費は、初年度にスタートアップ経費として 1,000 万円、次年度 500 万円を支給予定。研究スペースは、ホスト部局（大学院工学研究院または大学院理学研究院）内で自立的な研究環境を提供。また、共通機器として本学創成研究機構オープンファシリティ※※等の利用が可能。

※※オープンファシリティ：<http://www.cris.hokudai.ac.jp/openfacility/>

5. 公募締切

2011 年 11 月 30 日（水）必着（応募書類は郵送）

6. 選考スケジュール

第一次審査：12 月 1 日～12 月下旬

第二次総合審査：1 月下旬

選考結果通知：1 月下旬を予定

7. 採用予定時期

2012 年 2 月 1 日～2012 年 3 月 1 日の間のできるだけ早い時期

8. 応募書類提出先

応募書類は下記宛てに郵送してください。

〒060-8628 札幌市北区北 8 条西 5 丁目

9. 付記

本公募は、平成 23 年度文部科学省テニュアトラック普及定着事業に採択された本学提案課題による人事です。全学、中でも理学・工学・農学分野における女性研究者の採用、定着および活躍促進を目指す本学では、本人事において敢えて女性のみを対象とする公募を行い、女性グローバルリーダー育成を図ります。

採用後、活動拠点はホスト部局（大学院工学研究院または大学院理学研究院）ですが、テニュアトラック期間の採用は人材育成本部とし、本学での研究活動を円滑にスタートしていただけるよう、また本来の力を十分発揮していただけるよう、日々の研究支援、必要に応じて女性に特化した各種支援、メンター等を人材育成本部が提供し、部局アドバイザーと共に育成・活躍促進します。出産・育児等の家庭生活との両立支援体制にも万全を期し、必要に応じて研究支援員を配置する等さまざまな支援策を用意しています。

<人材育成本部HPのContact:研究領域の記述>

部局・女性型－工学研究院

1. 専門分野

合金、インターメタリック、セラミックなど各種金属系材料の組織設計・制御による新機能創出および新プロセスの開発に関する実験的および計算科学的手法による研究分野。

キーワード：鋳造、塑性加工、粉末冶金、熱処理、接合、複合、表面改質

2. 所属

テニュアトラック期間は人材育成本部の所属とする。

テニュアトラック期間の活動拠点およびテニュア職移行後の所属は大学院工学研究院材料科学部門マテリアル設計分野（組織制御学研究室）。

3. 担当科目

- ・本学複数学部の学生を対象とする全学教育科目授業を担当
- ・工学部応用理工系学科応用マテリアルコースの科目授業を分担
- ・大学院工学院材料科学専攻の演習科目授業を分担

4. 提出書類

(1) 履歴書

写真貼付、生年月日、国籍、現住所、連絡先と電話番号、電子メールアドレス、学歴（大学卒業以降）、学位、資格、職歴等

(2) 研究業績

A) 論文等に係る業績：学術論文（査読付）、国際会議プロシーディング、著書、解説・総説、作品、学会等講演、その他に分類

B) 競争的研究資金獲得状況：科学研究費補助金、共同研究・受託研究、公募研究資金等に分類

C) その他：所属学協会及びその活動、社会貢献、受賞等

(3) 教育実績：教育指導に係る実績、教育改善に係る実績、その他の教育実績

※（１）～（３）については下記URLより書式をダウンロードして作成すること。

<http://www.eng.hokudai.ac.jp/faculty/recruit/>

(4) 主要論文3編の写し各1部

(5) 採用された場合の研究計画（A4判2枚以内）

(6) 採用された場合の教育に対する抱負（A4判2枚以内）

(7) 参考意見を求めることができる方（2名）の氏名および連絡先

5. 提出時の注意

封筒表面に「材料科学部門助教公募」と朱記し、書留で郵送してください。

応募書類は原則として返却しません。

応募書類は助教選考の目的以外には使用しません。

6. 問合せ先

〒060-8628 札幌市北区北10条西8丁目  
北海道大学大学院工学研究院 材料科学部門  
松浦 清隆

TEL&FAX: 011-706-6343、Email: [matsuura@eng.hokudai.ac.jp](mailto:matsuura@eng.hokudai.ac.jp)

7. その他

選考に際して面接を実施する場合があります。

北海道大学大学院工学研究院ホームページ <http://www.eng.hokudai.ac.jp/faculty/>

<人材育成本部HPのContact:研究領域の記述>

部局・女性型一理学研究院

1. 専門分野

宇宙物理学の理論的研究、特に数値シミュレーションを用いた天体物理学に関する研究分野。

2. 所 属

テニュアトラック期間の所属は人材育成本部。

テニュアトラック期間の活動拠点およびテニュア職移行後の所属・活動拠点は大学院理学研究院物理学部門非線形物理学分野（宇宙物理学研究室）。

3. 担当科目

- ・本学複数学部の学生を対象とする全学教育科目授業を担当
- ・理学部物理学の科目授業を分担
- ・大学院理学院宇宙理学専攻の科目授業を分担

4. 提出書類

(1) 履 歴 書

写真貼付、生年月日、国籍、現住所、連絡先と電話番号、電子メールアドレス、学歴（大学卒業以降）、学位、資格、職歴等

(2) 研究業績

A) 論文等に係る業績：学術論文（査読付）、国際会議プロシーディング、著書、解説・総説、作品、学会等講演、その他に分類

B) 競争的研究資金獲得状況：科学研究費補助金、共同研究・受託研究、公募研究資金等に分類

C) その他：所属学協会及びその活動、社会貢献、受賞等

(3) 教育実績：教育指導に係る実績、教育改善に係る実績、その他の教育実績

(4) 主要論文3編の写し各1部

(5) 採用された場合の研究計画（A4判2枚以内）

(6) 採用された場合の教育に対する抱負（A4判2枚以内）

(7) 参考意見を求めることができる方（2名）の氏名および連絡先

5. 提出時の注意

封筒表面に「物理学部門助教公募」と朱記し、書留で郵送してください。

応募書類は原則として返却しません。

応募書類は助教選考の目的以外には使用しません。

6. 問合せ先

〒060-8628 札幌市北区北13条西8丁目

北海道大学大学院理学研究院 物理学部門

羽部 朝男

TEL&FAX: 011-706-2693、Email: [habe@astrol.sci.hokudai.ac.jp](mailto:habe@astrol.sci.hokudai.ac.jp)

7. その他

選考に際して面接を実施する場合があります。

北海道大学大学院理学研究院ホームページ <http://www.sci.hokudai.ac.jp/>